

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

農林畜産食品部プレスリリース

(① 2018年10月18日11時00分、②10月22日20時21分)

①京畿道坡州(ムンサンチョン)野生の鳥糞便からH5型鳥インフルエンザ(AI)抗原検出

- AI緊急行動指針(SOP)に基づいてブロック防疫措置 -

出典 URL:

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE88JTJGYmJzJTJGWFmcmEIMkY2OCUyRjMxODY0MiUyRmFydGNSVmIldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJT12aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNIJT12cmdzRW5kZGVtdHIIM0QIMjZwYwdlJTNEMSUyNmJic09wZW5XcmRTZXEIM0QIMjZyZ3NCZ25kZVN0ciUzRCUyNnNyY2hXcmQIM0QIMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4IM0QIMjZyb3cIM0QxMCUyNg%3D%3D>

(機械翻訳等に基づく仮訳)

- 農林畜産食品部(長官:イゲホ)は「2018年AI常時予察検査推進計画」に基づいて10月15日、京畿道坡州(汶山、ムンサンチョン)で採取した野生の鳥糞便の農林畜産検疫本部における検査の結果、10月17日、H5型AI抗原が検出されたと述べた。
- これにより、農林水産食品部はAI緊急行動指針(SOP)に基づいて抗原が検出された地点を中心に、
 - ①半径10kmの地域を「野生鳥獣類予察地域」に設定
 - ②当該地域内の家禽と繁殖中の鳥の予察・検査、移動制御と消毒
 - ③渡り鳥の飛来地と小河川などの近くの農家のブロック防疫強化
 - ④その自治体に広域噴霧車など防疫車を総動員して、毎日消毒を実施するなど、防疫措置を講じた。※高病原性かどうかなどの最終判定は3~4日かかる予定
- 併せて、10月11日、京畿道坡州漢江河口で採取した野生の鳥糞便は、農林畜産検疫本部における精密検査の結果、10月17日に低病原性AI(H5N2型)に最終確定されたと説明した。

②京畿道坡州（ムンサンチョン）野鳥糞便精密検査の結果、低病原性鳥インフルエンザ（AI） 確定

出典 URL：

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE88JTJGYmJzJTJGbWFmcmEIMkY2OCUyRjMxODY4OSUyRmFydGNsVmIldy5kbyUzRnJnc0JnbmRlU3RyJTNEJTl2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNIJTl2cmdzRW5kZGVtdHIIM0QIMjZiYnNpCGVuV3JkU2VxJTNEJTl2cGFnZSUzRDEIMjZyb3cIM0QxMCUyNnBhc3N3b3JkJTNEJTl2YmJzQ2xTZXEIM0QIMjZzcmNoQ29sdW1uJTNEJTl2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

（機械翻訳等に基づく仮訳）

- 農林畜産食品部（長官：イゲホ）は、10月15日、京畿道坡州（ムンサンチョン）で採取した野鳥糞便の環境部（国立環境科学院）の精密検査の結果、10月22日、低病原性AI（H5N2型）に最終確定されたと明らかにした
- 農食品部は低病原性AI確定に応じて、地域の設定された防疫隊解除されたが、冬鳥の到来にともない、野鳥でAI抗原が持続検出されており、家きん農家では、ブロック防疫上の注意を遵守しなければならないと呼びかけた。